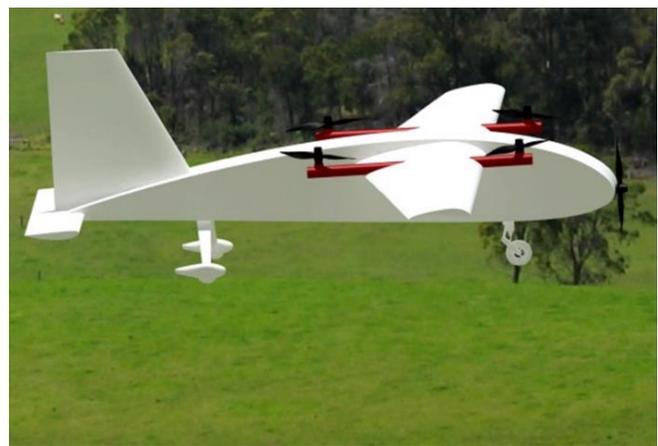


アフリカで新型コロナ対策を行うスタートアップ企業を支援 ニューノーマルをテーマに“NINJAビジネスコンテスト”開催 優秀企業 60社程度に1社あたり3万ドルを提供

国際協力機構(JICA)は、アフリカ19カ国を対象に、新型コロナ禍に伴う社会や経済の変化に対応する革新的なビジネスモデルやテクノロジーを創出することを目的として、現地スタートアップ企業を対象としたビジネスプラン・コンテストを実施します。7月6日より募集を開始します。

アフリカにおける新型コロナ感染者数は38万人を超え(6月29日時点、Africa CDC発表¹⁾)、WHOからは更なる感染拡大のリスクが指摘されています。また、影響は医療セクターに留まらず、経済活動や都市機能の停滞を招き、様々な社会課題を浮かび上がらせました。

一方で、アフリカでは、比較的規制が柔軟な中、ICTなどの最新テクノロジーを通じて社会課題の解決を図る起業家が輩出されており、リープフロッグ(かえる跳び)現象とも呼ばれ注目を集めています。そこで、JICAは、新たなテクノロジーの開発や既存のテクノロジーを活用したソリューションの提供を志す企業の発掘・育成を行います。アフリカ発のイノベーションを加速させることで、より強靱なアフリカのニューノーマル社会の構築に貢献します。優秀企業・団体には最大3万ドルの事業を委託し、プランに合わせ日本企業のマッチングも支援します。



エチオピアで「ITを活用し、社会問題をビジネスとして解決する」をテーマとしたビジネスコンテストの決勝戦でのプレゼンテーションの様子(2019年8月アディスアベバ)。

日本経済新聞社主催の東アフリカ視察団(2019年)に際して、エチオピアで実施したピッチイベントに登壇したエチオピアのドローン製造・事業運営会社 Maisha Technology 社のドローン。
(ビジネスプラン・コンテストの優秀企業ではない)

¹ <https://africacdc.org/covid-19/>

◆ビジネスコンテスト概要

プログラム名	NINJA Business Plan Competition in response to COVID-19
目的	COVID-19に伴う社会構造・経済活動の変化に対応した革新的なビジネスモデル・テクノロジーを生み出すスタートアップ企業の発掘。その成長を促すビジネスコンテストの実施及び優秀企業による事業の実証。
対象国 (19カ国)	アンゴラ、ウガンダ、エジプト、エチオピア、ガーナ、カメルーン、ケニア、コートジボワール、ザンビア、セネガル、タンザニア、チュニジア、ナイジェリア、ブルキナファソ、ボツワナ、マダガスカル、南アフリカ、モーリシャス、ルワンダ
スケジュール	公募期間：7月6日～7月29日 各国企業選定：8月～9月 決勝戦進出企業選定：10月～11月 全体決勝戦：12月（予定）
対象企業	・事業実施国において登記済みの企業または団体 ・サービスを提供している、又はサービスを提供する目的が契約期間中につくこと等
応募内容	COVID-19による社会構造・経済活動の変化に対応したビジネスアイデア及び事業概要
対象セクター	例) 1. リモートでの仕事・教育ツール 2. オンラインイベントの管理・運用 3. 医療データの共有及びプライバシー保護に係るサービス 4. 遠隔診療 5. 疾病に係る検査サービス 6. 緊急情報の伝達に係るサービス 7. 偽情報検出 8. 災害時における位置情報データを利用したサービス 9. 物流サービス（オンラインショッピング化・デリバリーシステム構築） 10. イノベーションによる輸入代替

◆優秀企業と日本企業とのマッチング

新型コロナウイルスに伴う変化によって生み出された新しい付加価値を提供するスタートアップ企業と日本企業とのマッチングも行います。アフリカのニューノーマルにおける日本企業のビジネス展開の機会も創出し、ひいては、アフリカの持続可能なビジネスの発展に貢献します。